

発米総第105号
発米議第118号
平成11年10月12日

中国電力株式会社
取締役社長 高須 司 登 様

米子市長 森田 隆 朝



米子市議会議員 平田 賢



島根原子力発電所に係る安全管理の徹底及び防災対策の
確立について（要望）

平成11年9月30日茨城県東海村の核燃料加工会社ジェー・シー・オ
ー東海事業所で発生した日本初の「臨界被爆事故」におきましては、周辺
9市町村の約31万人に避難勧告及び屋内退避要請がなされ、周辺住民に
危険が切迫するとともに、住民生活に多大な影響を及ぼしました。

また、これを機に、国民の間にも我が国の原子力施設全般の安全性を危
惧する声が高まり、原子力発電所の安全性に対しても、本市は島根原子力
発電所から25キロメートル内外に位置していることから不安感が増大
しているところです。

つきましては、貴社に対して下記の事項について強く要望します。

記

- 1 原子力発電所に係る安全対策を再点検され、安全管理を徹底されると
ともに、一層の防災体制の強化、充実に尽力されたい。

- 2 非常事態が発生した場合、速やかに情報を伝達されたい。
また、被害を最小限に止めるよう対策マニュアルを本市と協議し、対
策の確立に万全を期されたい。
- 3 本市においては、特に核燃料の輸送中の事故が懸念されるので、その
防災体制について万全を期されたい。
- 4 安全協定の締結について、これを契機に、半径30キロメートルを圏
域対象範囲とし、再度検討されたい。